

やなせたかし記念館 NEWS



やなせたかし記念館 NEWS vol.105

粉雪は風の小鳥か それとも小さな 天使か



表詩記 やなせたかし

二月号はいつも雪をかくことにきめています。どんな雪をかこうかなと楽しみにしています。なぜなら十二月号ではちょっとはやし、新年号は明るくしたい。二月だけしんみりと雪をかくのですが、どんな雪にするかということには大へん迷います。

ちいさな鳥がはばたいているような雪の天使はどうだろうかと考えた時に、この絵ができました。雪がふる日はそんなに寒くない。むしろ雪がなくて風の日の方が寒い。なぜなら雪は空の心が地上を包むのだから。などと考えながら書いていくわけです。

月刊『詩とメルヘン』
1978年(昭和53年)2月号表詩記より

Contents

03 地元の子どもの作品展
未来の巨匠展 vol.21

04 終了行事報告

10 海洋堂スペースファクトリーなんこくに
出張ミュージアムショップ オープン！
地域のお知らせ
Let you know

11 特別コラム
リニューアル情報①

地元の子どもの作品展 未来の巨匠展 vol.21

- 会期 / 2025年2月1日(土)～3月2日(日)
- 場所 / 香美市立保健福祉センター香北2Fロビー (アンパンマンミュージアム駐車場隣)
※やなせたかし記念館は休館中です。会場をお間違えなく！
- 入館無料

香美市の保育園、幼稚園、小学校に通う、3才から小学2年生を対象にした、地元の子どもの作品展です。子ども達の交流を図るとともに、子どもたちの創作活動の一層の励みとなることを目的として毎年開催しています。作品のテーマや素材は自由。豊かな発想のもと生み出される子どもたちの多種多様な作品を見ていると、元気が湧き、感動が生まれてきます。ぜひ、ご覧ください。



(2024年3月に開催された「未来の巨匠展 vol.20」の様子)

参加学校名

保育園・幼稚園

あけぼの保育園 大栃保育園 片地保育園 新改保育園 なかよし保育園 美良布保育園 土佐山田幼稚園
第二土佐山田幼稚園

小学校(低学年)

大栃小学校 大宮小学校 片地小学校 香長小学校 楠目小学校 舟入小学校 山田小学校
山田特別支援学校小学部

やなせたかし記念館は2025年3月29日(土)より全館リニューアルオープン！

※3月29日～31日までの期間であれば香美市在住、または在学の3才から15才までの子どもたちに配布している「香美市立やなせたかし記念館年間6回フリーパス」もご利用いただけます。

ぜひ、ご活用ください！

会場：南国市地域交流センター MIARE！（みあーれ！）/ 高知県南国市大そね甲 2117 番地

2024 年 12 月 8 日（日）

「第3回やなせたかし文化賞」シンポジウム& 「仮装して楽しもう！ やなせたかしソング演奏自慢コンテスト 2024」 受賞作品発表会



やなせたかし名誉館長の遺言により、子どものための良心的な漫画、絵本、作詞作曲等の芸術的活動に対して、2年に1度、賞を授与し、顕彰・奨励する「やなせたかし文化賞」。また、やなせの生前からのアイデアであった、やなせたかしが作詞や作曲を手掛けた楽曲を、仮装をして、歌を歌う・楽器を演奏する「仮装して楽しもう！やなせたかしソング演奏自慢コンテスト」。

本年は「やなせたかし文化賞」シンポジウムと「やなせたかしソング演奏自慢コンテスト」の受賞発表会を、やなせが少年時代を過ごした高知県南国市で同時開催しました。

はじめに、やなせたかし文化賞選定委員会を含むやなせたかしソング演奏自慢コンテストの審査員らが来場者と「手のひらを太陽に」を歌いイベントが開幕すると、「仮装して楽しもう！やなせたかしソング演奏自慢コンテスト 2024」の審査が行われ、最終選考に残ったファイナリスト作品が上映されると、審査員や会場投票に参加した来場者たちは真剣に作品を観覧していました。

次に「第3回やなせたかし文化賞」シンポジウムが開催され、里中満智子選定委員長からやなせたかし文化賞の特徴や意義についての動画メッセージが上映された後、これまでの文化賞をスライドで振り返りました。続いて選定委員によるトークイベントが行われ、以下のとおり登壇した選定委員からお話がありました。

ーやなせとの思い出について

やなせ先生が責任編集を務めた『詩とメルヘン』で、様々な仕事をさせてもらった。星屑同窓会ではイルミネーション付きのベストを着て登場するなどオシャレな方だった。（立原えりか委員）

『詩とメルヘン』で絵を担当した頃は20代であったが、やなせ先生は私が描いた絵にダメ出しをすることはなかった。『詩とメルヘン』でイラストを担当したことがきっかけで、絵本などの仕事が増え今につながっている。（牧野鈴子委員）

『詩とメルヘン』は憧れのイラストレーターが多く在籍していた。そんな中、姉妹誌の『いちごえほん』でイラストの担当をし、後に『詩とメルヘン』でもイラストを担当させてもらった。感情を絵にするという貴重な経験ができたのは積極的に使ってくれたやなせ先生のおかげ。やなせ先生と初めて会ったのは第9回サンリオ美術賞を受賞した際に、「いい人」と言われたのが印象的だった。（黒井健委員）

私も「牧野さんは「いい人」みたいだからこれからもお願いします」と言われた。（牧野委員）

絵には心が表れるため、いい人はいい絵を描く、だからやなせ先生は「いい人」を重要と考えていたのではないかと考えている。（黒井委員）

ーこれまでの文化賞をふり返って印象に残っていること

子どものために良心的であるだけでなく、やなせ先生ならどのように考えるかを意識している。“人生は喜ばせごっこ”、やさしさ、ユーモア、サービス精神などをキーワードに選んでいる。（内川雅彦委員）

自分自身が感動する作品であることを重要視している。第2回大賞受賞者であるぶるすあるはなど、これまで知らなかった団体の活動が、受賞することでもっと皆に知ってほしいという思いも持っている。（牧野委員）

書店の減少など、子どもが直に文化に触れる機会が減りつつある。やなせたかし文化賞は皆に知ってもらえるいい機会だと思う。（大木由香委員）

ーこれからのやなせたかし文化賞に期待すること

やなせ先生は高知県の「まんが甲子園」で審査委員長を務めたり、「4コマまんが大賞」を提案・資金援助したりと、漫画文化の発展や後進の育成を大切にされてきた。やなせたかし文化賞にはその思いを受け継いでほしい。候補者は他薦であるというメリットを活かして、世に知られていない方を顕彰していくことで、文化賞の独自の価値を創り出してほしい。（内川委員）

やなせたかし文化賞は、受賞者を広く皆様に知っていただくチャンスでもある。今後も長く続いてほしい。（大木委員）

内川先生と同様、新しい人との出会いを楽しみにしている。（牧野委員）

同じく、新しい絵や活動との出会いを楽しみにしている。（立原委員）

社会と呼応してイラストの世界も常に変わっているため、新しい出会いは常にある。個人的に受賞による受賞者の今後を重視している。自分自身、サンリオ美術賞に選ばれたことが自信につながった。文化賞の性質や候補者のこれまで・これからを考えながら選定していきたい。（黒井委員）

また、トークイベントの最後には早川史郎委員と山根青鬼委員から第3回やなせたかし文化賞に対する期待の動画メッセージが寄せられました。

続いて、「仮装して楽しもう！やなせたかしソング演奏自慢コンテスト 2024」の受賞作品の発表が行われ、やなせたかし文化賞選定委員賞ややなせスタジオ賞、1〜3等賞に入賞した作品が発表され、会場は大きな拍手に包まれました。

最後に、スペシャルコンサートが行われ、前半では大和田りつこさん・岡崎裕美さんが、やなせうさぎ、ごめん・なはり線キャラクターのごめん えきお君・あき ナースちゃんとともに「走れ！漫画列車」や「希望のハンカチ」など、作詞・やなせたかしや作曲・ミッシェル・カマの歌を披露し会場を盛り上げました。後半ではドリミングさんが、アンパンマン・ばいきんまんとともにアンパンマンソングを披露し、「ドレミファアンパンマン」ではアンパンマンたちが楽器を演奏しながら客席に降りると、子どもたちは大盛り上がりで一緒に歌っていました。コンサート終了後には、やなせたかし文化賞選定委員や（株）やなせスタジオ代表の越尾正子さんも登壇し、全員で「虹色の歌」を披露しました。

来場した130名以上のやなせたかしファンや近隣市町村の親子連れは、やなせたかし文化賞とやなせたかしソングの両方を楽しんでいる様子でした。

仮装して楽しもう！ やなせたかしソング演奏自慢コンテスト 2024

【賞】

- 1等賞 鉄琴一人バンド mutako「勇気りんりん」
- 2等賞 Musical Company ZERO「天使のパンツ」
- 3等賞 ちんどんトリオ改めちんぶりまんトリオ華乙女「てんどんまん自慢歌／手のひらを太陽に」

【特別賞】

やなせたかし文化賞選定委員賞
はるまっきー「アンパンマンたいそう／アンパンマンのマーチ／サンサンたいそう」

やなせスタジオ賞
saxophone quartet MAKE（サクソフォンカルテットメイク）
「生きてるパンを作ろう Brand New ver.」



©やなせたかし／やなせスタジオ



第3回やなせたかし文化賞 2025年2月6日発表
※当日の読売新聞朝刊、または、公式サイトをご覧ください。

公募作品展 第26回 OUR ギャラリー展

- 会期 2024年11月9日(土)～2024年11月24日(日)
- 会場 香美市立図書館かみー内「つながる一む」

《テーマ》
ドキドキ

詩やイラストをかくよこびと、作品を発表するよこびを、多くの方に楽しんでもらうとスタートした公募作品展「OURギャラリー展」は、毎回一つのテーマを設け、5・7・5調の詩とイラストを描いたハガキサイズの作品を募集し、展示を行っています。

やなせたかし・妻の暢さん夫婦がモデルとなっているNHK2025年度前期連続テレビ小説『あんぱん』が来年春に待ち構えていたり、香美市立やなせたかし記念館も来年春にリニューアルオープンを控えていたり、新しいことが始まる時の期待感などで胸が高鳴ることから「ドキドキ」を今回のテーマとしました。

全国各地の4歳から94歳まで幅広い世代の方から484点もの作品が寄せられ、審査の結果、下記の通り大賞1点、OURギャラリー賞5点の受賞作品が決定しました。審査員を務めていただいた雨宮尚子さん、くさか里樹さん、小松申尚さん、正木秀尚さん、おかもとあつしさんの5名のコメントとともに紹介します。

大賞



似内 亜美 さん (岩手県 16歳)

何を撮っているのかな～と、審査中みんなかわるがわる絵の中のレンズをのぞき込みました。興味をそられる詩、すべてを見せない大胆な構図が光っています。(雨宮)

画面いっぱいに断ち切った絵から、心臓の音が聞こえそうなほどの緊迫感を感じました。被写体は何なのか、状況を明かさないと、なんと大胆。いっぱい想像が膨らみました。(くさか)

その一瞬、逃すことのできないワンチャンスを、レンズ越しに狙っている。息をつめ、指は震え、胸の鼓動さえ聞こえてくるみたい。大胆にグッと寄った構図には緊張感があり、その外側に色々な物語があるような、想像力を刺激される作品でした。(小松)

一目見て世界観が心に飛びこんでくる魅力的な作品です。見れば見るほどこれがどういう状況なのか頭の中でイメージが広がります。この構図を選んだことがすごく成功していると思います。(正木)

薄暗いが、黄色い光から考えると市街地なのか?カメラには、望遠レンズと思われるレンズがついており、少し離れた位置から捉えた被写体は何だ?カメラを構える人物は、男性?女性?ひたひたに見える汗が緊張感を高めていく。意味深そうな"詩"と相まって、何かサスペンスドラマの中のワンシーンのようなミステリアスな作品。みごとに引き込まれてしまった。(おかもと)

審査を終えて

- 今年もたくさんのご応募ありがとうございました。はがきに描かれたイラストや詩に共感してドキドキ、どの作品を選んだらよいかとドキドキ、話し合いが白熱してドキドキ...と、テーマ通りドキドキづくしの審査会でした。審査員それぞれに、心にのこりつつ惜しくも選にもれてしまった一枚があり、選ぶことのむずかしさをあらためて感じました。(雨宮)
- 私たちの周りにドキドキすることってこんなにもたくさんあるんだな、と改めて気付かされるくらい、いろんな視点から描かれた作品が揃い、本当に見応えのある審査でした。(くさか)
- 「ドキドキ」というテーマのもとに集まった作品は本当に多彩の一言。17文字の言葉と、ハガキサイズの絵だけで、こんなにたくさんの表現ができるんだと感心しながら、楽しく審査することができました。奥が深いのにチャレンジしやすい大会だと思うので、ぜひ次回以降も、個性が爆発するような作品で楽しませてほしいと思います。(小松)
- 全体的にレベルの高い作品が多く、楽しく選りながら心苦しい思いもしました。技術的に優れた作品や感性の鋭い作品など多彩な資質と向き合せて自分もドキドキとワクワクを味わいました。(正木)
- このたびは、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。好きな人と「ドキドキ」、期待で「ドキドキ」、緊張で「ドキドキ」、怖いことで「ドキドキ」など、いろいろな「ドキドキ」に出会えた今年の審査会でした。気になったのは、「絵と詩の関係性に少し気を付けると、もっと良くなるのに」と思えた作品が多かったように感じました。絵が上手に描けているのに、あえて詩に「ドキドキ」と書き入れてしまったり、詩の文字を大きく書き過ぎて、絵を見えにくくしてしまったり...、アイデアを練る中で、絵と詩(文字)のバランスや見せ方に少し気を付けるだけで、もっと素敵な作品ができると思います。これからも、楽しい作品のご応募をお待ちしています!(おかもと)

OUR ギャラリー賞



五味 心陽 さん
(東京都 6歳)

たくさんの目が見つめるなかで手をあげるのって勇気がいりますよね。ドキドキをこらえてピンとあげた手、かっこいいです。いいとこしっかり見えています!(雨宮)

その小さな胸の中に抱えている純粋な気持ちを、直球で表現してくれていて、おじさんも胸を打たれました。そうだね、いいとこ見せたいよね!手をピンと上げているのが、すごくかっこいい。(小松)



筒井 音花 さん
(高知県 19歳)

原稿用紙に言葉をうまく配置しましたね。やたらリアルで美味しそうなジャガイモが怖いくらい大きくて、その存在感に魅せられました。(くさか)

画力と構図が抜群です。そのおかげでジャガイモに迫力があって「これホントに落ち着くの?」と思わず笑ってしまいました。(正木)



赤澤 圭子 さん
(群馬県 61歳)

審査員がつぎつぎに自身のヘビ体験を語ってしまうほど高い共感を得ました。ヘビのうろこや草なども細かくていねいに描かれ、やさしいタッチのなかにリアリティも感じました。(雨宮)

実は、私も中学生くらいのころ、同じような体験をしました。大人の腕のくらいの「丸太かな?」と思ったものが、突然動き出して草むらに消えていきました。心臓が激しく動いていたのを覚えています。絵も詩も美しく、バランス良く構成されている作品だと思いました。特に、胴体の一部だけしか描かなかったことで、蛇の大きさを見る人に想像させたところがすばらしいです。(おかもと)



土橋 莉子 さん
(愛知県 18歳)

こわ～いGのことなのに、すご～く素敵に描く見事さ。フォントも絵にマッチしていて絵本の1ページのような感じです。(くさか)

かわいくてユニークな絵柄に高い力量を感じました。詩のフォントも好きです。細かいところまでいねいに描かれていて、見てて楽しくなります。この絵で絵本が読んでみたいです。(正木)



岩本 しんじ さん
(福岡県 69歳)

受賞作の中でも、実際に起きた時のドキドキ度はMAX。指が震えるどころか、毛が逆立ち、瞳孔は開いて、心臓が飛び出さるだろうと思います。ケバケバしいくらいに鮮やかな色彩が、欲求不満で巻く宝くじ抽選会の様子をよく表していると感じました。(小松)

なかなか、ここまで数字がそろって自体が奇跡!ここまで揃うと、指の震えも止まらないでしょうね。密かな楽しみで宝くじを買っている私としては、「ドキドキ」を実感としてとらえることができた作品でした。ああ、一度でいいからこんな気持ち味わってみたい。(おかもと)

【審査員トークイベント】

日時：2024年11月17日(日) 会場：香美市立図書館かみー内「つながる一む」

香美市立図書館かみー内「つながる一む」にて、審査結果発表トークイベントを開催しました。審査員を務めた雨宮尚子さん、くさか里樹さん、小松申尚さん、正木秀尚さん、おかもとあつしさんが、総評と受賞作品それぞれの選評、そして作品作りのポイントについて語り、来場者は受賞作品を直に眺めながら、審査員の話に耳を傾けました。



会場：詩とメルヘン絵本館

2024年8月10日(土)～9月23日(月・祝)

鈴木のりたけの“しごとば”展 進化する絵本の世界

「第2回やなせたかし文化賞」の受賞者で絵本作家の鈴木のりたけさんの代表作「しごとば」シリーズの原画51点や「大ピンチずかん」シリーズの原画26点など、合計165点を展示し、鈴木のりたけさんの絵本の世界を紹介しました。また、9月15日(日)には、関連イベントとして“鈴木のりたけのトークショー「おもしろごとと世界がひろがる」”を開催。鈴木さんによる数字を使って絵や形を表現するワークショップが行われた後、『しごとへの道2』（プロンズ新社、2023年）のオーケストラ団員のモデルとなったヴァイオリニスト・佐々木絵理子さんによる生演奏が行われ、鈴木さんのユーモアあふれる会話や佐々木さんのヴァイオリンから奏でられる音色に、集まった約100名の来場者は和やかな雰囲気です。



会場：アンパンマンミュージアム 4F 企画展示室

2024年8月28日(水)～11月4日(月・振休)

企画展示室 秋の企画展 アンパンマンとおえかきベレちゃん

“芸術の秋”を感じさせる『アンパンマンとおえかきベレちゃん』（フレーベル館、2009年）の絵本原画をご紹介します。ベレちゃんによる楽しい絵かき歌やばいきんまんたちも大喜びのハッピーエンドをご覧くださいました。また、四季の“秋”で連想される言葉としてよく挙げられる読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋にあわせて、『アンパンマンとブックマン』（フレーベル館、2008年）、『ぐるぐるマラソン』（フレーベル館、1995年）、『アンパンマンとかいじゅうアンゴラ』（フレーベル館、1983年）の絵本もご紹介しました。



会場：詩とメルヘン絵本館

2024年10月2日(水)～11月4日(月・振休)

「詩とメルヘンの世界 part II」

『ガンバリルおじさんとホオちゃん』（小学館、2008年）を中心として、やなせたかしの詩とメルヘンの世界をご紹介します。10月13日(日)のやなせたかし名誉館長の命日にあわせ、「やなせたかし^{ほおのき}木公園」に設置されている詩「ホオノキ」や晩年に出版された詩画集なども展示しました。また、一日のルーティンを描いた「やなせうさぎの一日」、ライフワークであった月刊『詩とメルヘン』もあわせてご紹介しました。ふるさとへの想いが込められた『ガンバリルおじさんとホオちゃん』や老境の想いが自由に表された詩画集から、やなせの人柄に触れることができたとの声も寄せられました。



会場：アンパンマンミュージアム

2024年10月13日(日)

高知小学校合唱発表会

10月13日(日)のやなせたかし名誉館長の命日に、やなせが名誉学園長をつとめている、学校法人高知学園高知小学校の1・2年生たちがアンパンマンミュージアムエントランスにて合唱を披露しに訪れてくれました。やなせの作成した高知学園のマスコットキャラクターである「タチバナ・タッキー」のパネルと一緒に、「勇気りんりん」、「スキスキタッキー」の2曲を披露してくれました。最後はやなせうさぎと記念撮影。1・2年生たちの元気な歌声に、歌の好きなやなせも喜んでもらったのではないでしょうか。



会場：アンパンマンミュージアム

2024年10月27日(日)

香美市感謝デー告知イベント

やなせたかし記念館では2024年10月30日(水)～11月4日(月)までの期間中香美市在住の方は全館入館無料となる「香美市感謝デー」を開催しました。10月27日(日)に、香美市イメージキャラクターである、かりかりモモコちゃん、龍河洞リュウくん、ゆずぼうやたちがやなせたかし記念館で「香美市感謝デー」の宣伝をしにやってきました。やなせうさぎもそれをお出迎えしました。長く親しまれてきた館内をお楽しみいただける最後の機会ということで、休館日までに多くの方にお越しいただきました。



会場：豊島区立中池袋公園

2024年11月9日(土)～10日(日)

アニメ&まんが 聖地 EXPO ブース出展

11月8日(金)～10日(日)にわたり、中池袋公園等東京都豊島区にある施設を中心に、日本全国にあるアニメ・まんがに関連した施設が集まり、施設や地域の魅力にふれることのできるイベント、「アニメ&まんが 聖地 SUMMIT & EXPO」が開かれ、香美市やなせたかし先生顕彰事業推進室（通称：あんぱん室）、香美市立やなせたかし記念館で11月9日(土)、10日(日)開催の「アニメ&まんが 聖地 EXPO2024」へ共同スペースで出展しました。イベント会場では、各地の名産品や地域グッズの販売、アニメやまんがのステージイベントも開催されました。来場者へ、ドラマや来年のリニューアルオープンに向けて香美市の魅力を紹介しました。



海洋堂スペースファクトリーなんこくに出張ミュージアムショップオープン！

- 出店期間 / 2024年12月6日(金)～
2025年2月24日(月祝)の金・土・日・月曜
※12/28～1/1は休み。ただし、1月2日(木)は営業します
- 出店時間 / 11時～16時
- 場 所 / 海洋堂スペースファクトリーなんこく 2階エレベーターホール
(高知県南国市大そね甲1623-3)
- 入館無料



香美市立やなせたかし記念館の「ミュージアムショップ」が期間限定で出張オープンします。場所は、やなせが少年時代を過ごした南国市にある「海洋堂スペースファクトリーなんこく」です。記念館は2025年3月29日まで休館していますが、出張ミュージアムショップにて限定商品をお買い求めいただくことができますので、ぜひお立ち寄りください。

また、「海洋堂スペースファクトリーなんこく」2階展示室にはやなせに関する展示コーナーがあり、さらに、施設周辺にはやなせが通称：ありがとう駅と名づけて詩を書いた土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線の後免町駅や、南国市の特産品の一つである生姜をモチーフにした「ごめん生姜地蔵」石像などもあります。この機会にやなせゆかりの地を散策してみてください。

地域のお知らせ

ものべがわエリア観光博「ものべすと」開催！

やなせたかし名誉館長の出身地である香美市、少年時代を過ごした南国市、両市に隣接する香南市の3つの物部川流域の市では、2025年前期の連続テレビ小説「あんぱん」(NHK)の放送にあわせて観光客の誘致をはかるため、2025年3月29日(土)～2026年2月8日(日)の期間で観光博覧会「ものべすと」を開催予定です。

観光博覧会の名称は地域を流れる物部(ものべ)川と英語で最高、極上、最も親しいなどを意味する「ベスト」を組み合わせています。

「ものべすと」の開催に先立つ2025年2月上旬からは各地でイベントを開催予定で、やなせの誕生日に関連したイベントも行われる予定です。



Let you know

■ しみず やすこ 個展

星のアトリエ

2025年3月10日(月)～15日(土)
12:00～19:00(初日は14:00～19:00 最終日は17:00まで)
Pinpoint Gallery (ピンポイントギャラリー)
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-49-5 R ハウス
TEL 03-3409-8268
HP <https://www.pinpointgallery.com>

日々感じる“色、音、香り”…。様々な感覚から生まれる星のような作品たち。“春夏秋冬の星図”の作品と共に、“南半球の星図”の新作を中心に展示いたします。

しみずやすこ HP <https://www.shimizuyasuko.com>



やなせたかしを知ろう②やなせたかしの妻・暢さんについて

やなせと妻の暢さんがモデルとなるNHKの2025年前期連続テレビ小説『あんぱん』では、今田美桜さんが演じるヒロイン「朝田のぶ」が三姉妹の長女として登場する予定ですが、実際の暢さんはどのような人物だったのでしょうか。本コラムでは、暢さんの人となりややなせとの関係について触れていきたいと思います。

「私、先に上京して、やなせさんを待っているわ。」¹

終戦後、ふるさとの高知で働いていたやなせは、想いを寄せる女性の東京が大きなきっかけとなり、再び上京し漫画家としての道を歩んでいきます。この女性こそが、後にやなせたかしの妻となる暢さんでした。

暢さんは1918年5月18日生まれで、大阪市出身。父親は高知県安芸市出身で総合商社に勤めており、2歳年上の兄1人、2歳年下の次女、5歳年下の三女、6歳年下の四女に囲まれた5人兄妹の長女として育ちました。

1946年4月、暢さんは高知新聞社に戦後初の女性記者として入社します。ここで『月刊高知』編集室に配属となったことで、初めてやなせと知り合います。暢さんは「一見かわいそうに見えるのですが、女学生のときは『イダテンおのぶ』の異名をとった短距離のランナーで体育会系の硬派」²な女性で、「テキパキとした行動と快活な愛らしさ」¹を持ち合わせていたといいます。そんな暢さんにやなせはすっかり魅了されてしまい、同僚として仕事をするうちにやがて恋仲となっていきます。

1947年、先に上京した暢さんを追うようにやなせは上京。暢さんの下宿先で同棲を始めます。

1949年、二人は結婚しました。

1953年、三越百貨店に勤めていたやなせは退職しフリーの漫画家として独立することを考えます。勤め先をやめて漫画家一本でやっていけるのか将来を不安に思い悩むやなせに対し、暢さんは「やめなさいよ、なんとかなるわ、収入がなければ私が働いて喰わせてあげる」¹と平然としていたといいます。暢さんは、やなせの活動を陰ながら支え続け、現在広く知られる“やなせたかし”の誕生を大きく後押しした存在であったのです。

そんな暢さんですが、1993年にがんのため死去。

カミさんは、「葬式も告別式もしないでね。みんなに迷惑かけるから」と言っていたし、ほくも形式的なことには嫌いで、結婚式もしなかったから、すべてを内密に運んで、ほんの身内だけでいっさいをすませた。¹

家庭内では暢さんのことを「おぶちゃん」と呼び、最愛の伴侶として長い間ともに暮らしてきたやなせは、しばらくの間ひどく落ち込んだといいます。

暢さんの命日から1年後の1994年11月22日には、東京・赤坂プリンスホテルでやなせ主催の「宗暢(そうちょう・暢さんの茶名)を偲ぶ会」が開催され、生前仲の良かった友人や肉親たち、ポニージャックスらの歌手が集まり、歌を歌って暢さんを偲びました。

1991年、春の叙勲受章式にて

¹『アンパンマンの遺書』(岩波書店、1995年)
²『人生なんて夢だけ』(フレール館、2005年)



1953年、やなせたかしと暢さん



リニューアル情報①

エントランスにやなせうさぎが登場します！

2025年3月29日のリニューアルオープンに向けてあわただしく改修工事が進んでいる香美市立やなせたかし記念館。この記事ではリニューアル後に登場する館内の新しい展示についてご紹介いたします。

第1回目は、エントランスに登場するやなせたかし名誉館長の分身キャラクター「やなせうさぎ」像です。当館エントランスは、イタリアの中世都市・シエナのカンポ広場がモチーフとなっており、緩やかな傾斜の大階段と大きな吹き抜けが特徴的な開放感のあるスペースで、来館者のお出迎えと憩いの場となっていました。

そんなエントランスにやなせうさぎ像が設置されることになりました！大階段に座り、赤いベレー帽をかぶりパレットと絵筆を持っている姿が可愛らしく、そして名誉館長らしい佇まいです。一緒に写真を撮ることも出来ますので、フォトスポットとしても憩いの場としても、さらに素敵なエントランスとなる予定です。

大階段から見える大自然の景色をやなせうさぎと一緒に楽しみください。



© やなせたかし / やなせスタジオ

しうないますを
あふいていたら
しってるとは
あった
うれしくて
「やあ」と
てをあげたら
へんちかおして
にらんだ
しうな「ひとだった」



「人生の言葉(こころ)」

人間なんておかしいね」

著者 やなせたかし

(二〇〇二年 たちばな出版刊)より

利用案内情報

開館時間

●通常期

午前9:30～午後5:00(最終入館午後4:30)

休館日

毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は、その翌日)

※改修工事のため 2024年11月5日(火)～2025年3月28日(金)まで全館休館いたします。ご来館をご予定されていた方には大変ご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

入館料

やなせたかし記念館共通

	個人	団体 (20名様以上)
一般	800	720
中高生	500	450
小人(3才～)	300	270

詩とメルヘン絵本館のみ

	個人	団体 (20名様以上)
一般	450	400
中高生	200	180
小人(3才～)	100	90

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをご提示いただいた場合、手帳所持者とその介助者1名まで半額

※企画展開催時は料金設定を変更する場合がありますのでご了承ください。

交通案内

【車】○高知市中心部より約60分 ○高知龍馬空港より約40分 ○高知自動車道南国I.C.より約35分

【電車/バス】○JR土讃線・土佐山田駅のりかえJR/バス大柵線で約25分
「美良布(アンパンマンミュージアム)」バス停下車徒歩5分



香美市立

やなせたかし記念館

アンパンマンミュージアム & 詩とメルヘン絵本館

〒781-4212 高知県香美市香北町美良布1224-2
TEL:0887-59-2300 FAX:0887-57-1410
https://anpanman-museum.net



Facebook



Instagram

©やなせたかし ©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

2024.12.15 発行(毎年4回15日発行) 第27巻 第4号 次回3月15日発行